

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス奉納太鼓
事業主体 (連絡先)	北アルプス奉納太鼓実行委員会 (事務局長 市河千春 090-4442-8086)
事業区分	教育、文化、観光の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,437,218円

#### 事業内容

大北地域に縁のある喜多郎氏の総合プロデュースのもと、「北アルプス奉納太鼓」と銘打って、中秋の名月の日、北アルプスの山々や自然に感謝を込め、北アルプスに夕日が沈む夕刻から翌日、東の山々に日が昇るまでの間途切れることなく太鼓を打ち続けた。

一般参加者貸出し用のハンドドラムを製作するにあたり実行委員やボランティアスタッフらによる手作りワークショップを開催した。



【地元子供連によるオープニング演奏】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①北アルプス等の山々に感謝するという大北地域ならではの特性に着目したイベントの開催により、当圏域の魅力の発信ができた。
- ②本年は400人程度の参加者であったが、県外国外から宿泊を伴う参加者も少なくなく、今後の発展性が高まった。
- ③地元の子供チームによる演奏でオープニングを飾ったことが大変賞賛を浴び出演した子どもらに好影響を与えた。
- ④本年は圏域11の太鼓チーム中、6チームの参加であったが、趣旨に賛同いただいていることから、全チーム参加の見通しが付いた。また、圏外からの参加のめどが立った。
- ⑤「信州山の日」の制定初年度ということで、県との協働による開催と位置付け、喜多郎氏と知事との対談、記者発表などにより、県民へ「信州山の日」の広報、PRができた。

#### 【目標・ねらい】

- ①大北地域の魅力発信
- ②観光客誘致による地域活性化
- ③和太鼓の文化継承、人材育成
- ④圏域の一体感醸成
- ⑤県と協働で「信州山の日」のPR

#### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

県との協働、世界的に知名度の高い喜多郎氏の支援等により、地元や他県からの参加も増えており、狙いどおりの効果が得られた。今後は、官民協働一体となった実行委員会で運営できるよう、早い段階から組織を稼働し、情報発信など行い、事業の目的などが十分浸透し、自主的な参加等が増えるよう工夫や改善をしていきたい。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も大北地域の活性化に熱い想いを抱く喜多郎氏の全面的支援を受けながら、「山岳県・信州」をアピールする県とも更に連携を強化し、地域をあげた統一イベントとして育て、大北地域の山岳観光の目玉になるよう事業を展開していく。また、長野県太鼓連盟とも連携を更に強化し、全県、全国から山、大地、自然に対する感謝の気持ちを太鼓を通して伝える、奉納太鼓を毎年中秋の名月の日に集うイベントとして更に大きな輪になるよう取り組みたい。